

平成 29 年度 島根県高校入試問題

注意 $\sqrt{\quad}$ や π が必要なときは、およその値を用いなくて $\sqrt{\quad}$ や π のままで答えること。

【第 1 問題】 次の問 1～問 9 に答えなさい。

問 1 $9 \div (-6) \times (-2)$ を計算しなさい。

問 2 $\sqrt{18} + \sqrt{50} - 3\sqrt{8}$ を計算しなさい。

問 3 等式 $2a + 3b = 6c$ を b について解きなさい。

問 4 方程式 $x^2 + 5x - 4 = 0$ を解きなさい。

問 5 y は x に比例し、 $x=12$ のとき $y=-8$ である。 $x=-3$ のときの y の値を求めなさい。

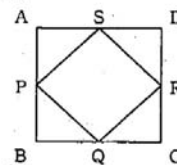
問 6 四角形 ABCD の 4 辺 AB, BC, CD, DA の中点を、それぞれ P, Q, R, S とする。このとき、図 1 のように、四角形 ABCD が正方形の場合、4 辺の中点を結んでできる四角形 PQRS も正方形となる。

このように、四角形 ABCD と内側にできる四角形 PQRS が同じ呼び方となるのは、四角形 ABCD がどのような場合か。次のア～エから正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。

ただし、ここでは正方形を長方形や平行四辺形などと呼ばない。ように、四角形は最もふさわしい呼び方で考えるものとする。

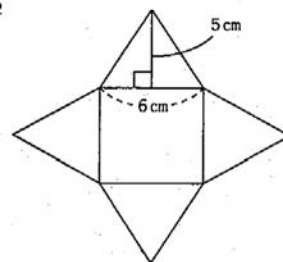
ア 台形 イ 平行四辺形 ウ 長方形 エ ひし形

図 1



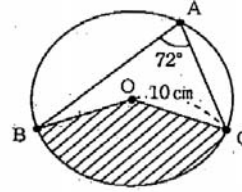
問 7 図 2 は 1 辺が 6 cm の正方形のまわりに、それぞれの辺を底辺とし、高さが 5 cm の二等辺三角形を 4 枚並べたものである。この図形を組み立ててできる正四角錐の体積を求めなさい。

図 2



問8 図3のように、半径10 cmの円Oの周上に3点A, B, Cがある。 $\angle BAC = 72^\circ$ のとき、斜線部分の面積を求めなさい。

図3



問9 A中学校の図書委員会では、「3年生40人が1学期間に図書館から借りた本の冊数」について調べ、資料を整理しようと考えた。この資料の傾向を読み取るとき、次のア～エの説明の中で誤っているものをすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 同じ資料でも、階級の幅が異なるとヒストグラムから読み取ることができる傾向が異なる場合がある。
- イ 資料の中央値は、その資料の平均値よりも必ず大きな値となる。
- ウ 資料の中央値、最頻値を調べると、本の冊数は整数の値なので、両方の値とも必ず整数の値となる。
- エ 「B中学校の3年生210人が1学期間に図書館から借りた本の冊数」についての資料と分布のようすを比較しようとする場合は、相対度数を用いる。

【第2問題】 次の問1, 問2に答えなさい。

問1 ①, ②, ③, ④の4枚のカードがある。このカードをよく切ってから続けて2枚引き、1枚目を十の位、2枚目を一の位として2桁の整数をつくる。次の1～3に答えなさい。

1 2桁の整数は全部で何通りできるか求めなさい。

2 2桁の整数が3の倍数となる確率を求めなさい。

3 最初の4枚のカードのうち、③のカードを⑤のカードに入れかえて、同様に2桁の整数をつくる。このときできる整数は、カードを入れかえる前と比べて3の倍数になりやすいか、なりにくいかわからないか、次のア～ウから1つ選び記号で答えなさい。また、選んだ理由を確率の考え方を使得、具体的に数値を示しながら説明しなさい。

- ア なりやすい イ なりにくい ウ 変わらない

問2 連続する3つの偶数の和が、どんな数になるか調べてみた。

$$\begin{aligned} 2, 4, 6 \text{ のとき, } & 2 + 4 + 6 = 12 \\ 10, 12, 14 \text{ のとき, } & 10 + 12 + 14 = 36 \\ 12, 14, 16 \text{ のとき, } & 12 + 14 + 16 = 42 \end{aligned}$$

これらの結果から、その和は6の倍数になっていることに気がついた。
そこで、次のような予想を立てた。

【予想】連続する3つの偶数の和は、いつも6の倍数となる。

この【予想】が正しいことを次のように説明した。

【説明】

整数 n を使って、連続する3つの偶数の最小の数を $2n$ とすると、

連続する3つの偶数は、 $2n$ 、 $\squareア$ 、 $\squareイ$ と表される。

このとき、連続する3つの偶数の和は

$$2n + \squareア + \squareイ$$

$$= \squareウ$$

$$= 6(n+1)$$

となる。

n は整数だから、 $n+1$ も整数となる。

よって、 $\squareエ \times (\text{整数})$ の形で表されるので、予想は正しいといえる。

次の1、2に答えなさい。

1 上の【説明】の $\squareア \sim \squareエ$ にあてはまる数または式を答えなさい。

2 整数の性質について、次の形式に合う事柄を1つ見つけて答えなさい。ただし、上の【予想】以外で、【説明】のようにいつも正しいといえるものを答えること。

なお、「連続する3つの整数の和は整数となる。」「連続する3つの整数の積は整数となる。」という解答は除くこと。

連続する3つの となる。

【第3問題】 次の問1、問2に答えなさい。

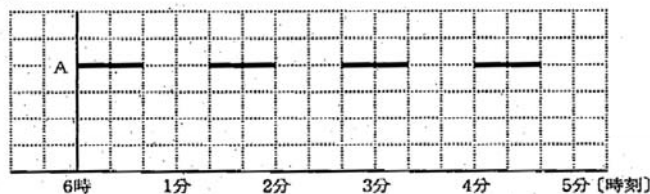
問1 2つの歩行者用信号機A、Bがある。この2つの信号機は次のような動作をくり返す。ただし、点滅した状態は考えないものとする。

信号機Aは40秒間赤色になると、その後40秒間青色になる。
信号機Bは20秒間赤色になると、その後40秒間青色になる。

午前6時ちょうどに2つの信号機は同時に青色から赤色へかわることがわかっている。次の1～3に答えなさい。

1 図1のように信号機が赤色のときを太線で表すと、午前6時3分30秒に信号機Aは青色を示していることがわかった。同じ時刻に信号機Bは何色を示しているか答えなさい。

図1

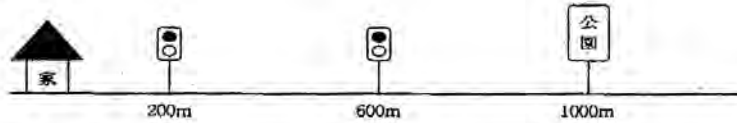


2 午前6時ちょうどの次に、2つの信号機が同時に青色から赤色へかわるのは午前何時何分何秒か、答えなさい。

3 2つの信号機が同時に青色から赤色へかわるのは、午前6時ちょうどから午前6時30分0秒までの間に何回あるか求めなさい。ただし、午前6時ちょうどは回数に加えないものとする。

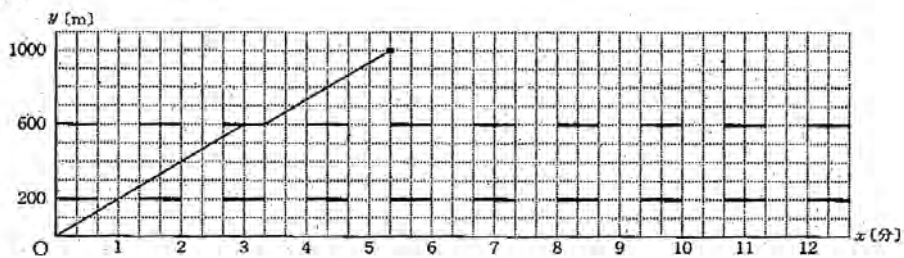
問2 Kさんは午前6時ちょうどに家を出発し、1000m離れた公園までの往復の道のりをジョギングしようと考えている。公園までの途中には、図2のように家から200m、600m離れた地点に、問1で考えた信号機Aと同じ動作をくり返す信号機がある。

図2



Kさんは、家を出発してから x 分後におけるKさんと家の距離を y mとして、 x と y の関係をグラフに表そうとしている。行きと帰りそれぞれ常に一定の速さで走り、信号機が赤色の場合はその場で停止し、信号機が青色へかわるとすぐに走り出すことにする。図3は家を出発してから公園に到着するまでのようすをグラフに表したものである。ただし、信号機の赤色を示す太線を図1と同様に記入している。下の1～3に答えなさい。

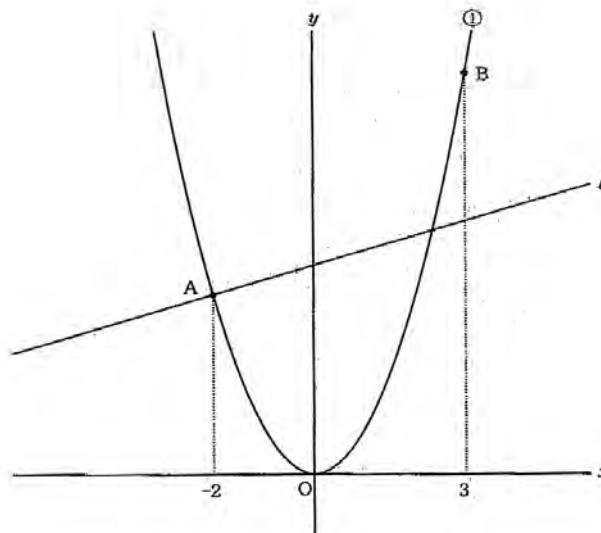
図3



- 1 家から公園に向かうKさんの走っているときの速さは分速何mか、求めなさい。
- 2 家から公園に向かうまでの中間地点（家から500mの地点）に到達するのは午前何時何分何秒か、求めなさい。
- 3 公園に到着したあと、休まずに折り返して家に向かうことにする。Kさんが一度も信号で止まらずに家に帰るためには、どのようなグラフになればよいか。Kさんの帰りのようすを表すグラフを解答欄に1つかきなさい。ただし、Kさんは一定の速さで走り、途中で引き返さないものとする。

【第4問題】 図1のように、関数 $y=x^2$ ……①のグラフ上に2点A、Bがあり、その x 座標はそれぞれ-2、3である。また、点Aを通る直線を ℓ とする。下の問1～問4に答えなさい。

図1



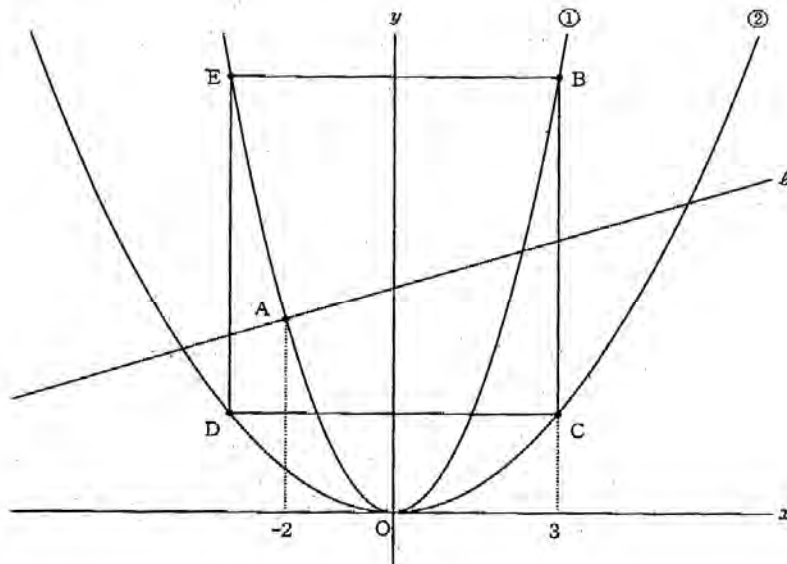
問1 関数①について、 x の変域が $-2 \leq x \leq 3$ であるときの y の変域を求めなさい。

問2 関数①について、 x の値が -2 から 0 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

問3 直線 l が点 B を通るとき、直線 l の式を求めなさい。

問4 図2のように、関数 $y = ax^2 \dots \dots$ ②のグラフを図1にかき加え、②のグラフ上に点 B と x 座標が等しい点 C をとる。さらに、四角形 $BCDE$ が長方形となるように、点 D, E をグラフ②とグラフ①上にそれぞれとる。ただし、 a は 1 より小さい正の数である。下の1~3に答えなさい。

図2



1 a の値が大きくなるとき、辺 BC の長さはどうなるか、次のア~ウから1つ選び、記号で答えなさい。

- | | | |
|--------|--------|---------|
| ア 長くなる | イ 短くなる | ウ 変わらない |
|--------|--------|---------|

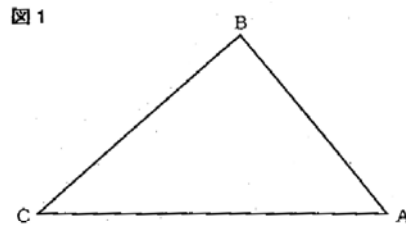
2 長方形 $BCDE$ が正方形となるとき、 a の値を求めなさい。

3 直線 l が長方形 $BCDE$ の面積を2等分するとき、直線 l は点 A のほかにどのような点を通る直線であるか、次の形式に合うように答えなさい。

直線 l は点 A と を通る直線である。

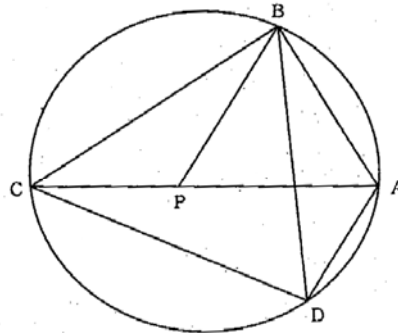
【第5問題】 次の問1, 問2に答えなさい。

問1 図1の $\triangle ABC$ の辺AC上に $AP = BP$ となる点Pを定規とコンパスを用いて作図しなさい。また、点Pを示す文字も書きなさい。ただし、作図に用いた線は消さないでおくこと。



問2 図2のように、4点A, B, C, Dが同一円周上にあり、 $\triangle BCD$ は正三角形である。線分AC上に $AP = BP$ となる点Pをとるとき、下の1~3に答えなさい。

図2

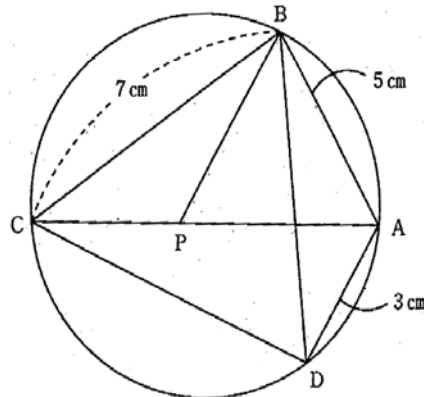


1. $\angle BAD$ の大きさを求めなさい。

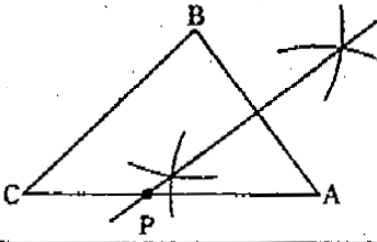
2. $\triangle PAB$ は正三角形であることを証明しなさい。

3 図3のように、 $AB = 5\text{ cm}$, $AD = 3\text{ cm}$, $BC = 7\text{ cm}$ の関係にある。このとき、四角形ABCDの面積を求めなさい。

図3



問題番号		正	解	答	配点	
第1 問 題	問1	3			1点	
	問2	$2\sqrt{2}$			1点	
	問3	$b = \frac{6c-2a}{3}$			1点	
	問4	$x = \frac{-5 \pm \sqrt{41}}{2}$			1点	
	問5	$y = 2$			1点	
	問6	イ			2点	
	問7	48	cm ²		2点	
	問8	40π	cm ²		2点	
	問9	イ, ウ			2点	
					計13点	
第2 問 題	問1	1	12	通り	1点	
		2	$\frac{1}{3}$		2点	
	問2	【記号】		ア	1点	
		【説明】		入れかえたあとの確率は $\frac{2}{3}$ となり、 入れかえる前と比べて確率が大きくなるから。	2点	
	問2	17イ	$2n+2, 2n+4$			1点
		1ウ	$6n+6$			1点
1エ		6			1点	
2		連続する3つの 整数の和は、いつも3の倍数 となる。			2点	
					計11点	
第3 問 題	問1	1	青色		1点	
		2	午前 6時4分0秒		1点	
		3	7回		2点	
	問2	1	分速 200 m		1点	
		2	午前 6時2分30秒		1点	
	問3	3				2点
					計8点	

第 4 問 題	問 1	$0 \leq y \leq 9$	1点	
	問 2	-2	1点	
	問 3	$y = x + 6$	2点	
	問 4	1	1	1点
2		$a = \frac{1}{3}$	2点	
問 4	3	直線 l は点 A と 長方形 BCDE の対角線 BD, CE の交点 を通る直線である。	2点	
			計 9 点	
第 5 問 題	問 1		2点	
	問 2	1	120 °	2点
		2	【証明】 $\triangle BCD$ は正三角形だから $\angle CDB = 60^\circ$ 弧 BC の円周角より $\angle PAB = \angle CDB$ よって $\angle PAB = 60^\circ$① $AP = BP$ より二等辺三角形の底角は等しいから $\angle PBA = \angle PAB$② 三角形の内角の和は 180° であるから、①、②より $\angle APB = 60^\circ$③ ①、②、③より、3つの角がすべて 60° の三角 形となるので、 $\triangle PAB$ は正三角形である。	3点
		3	$16\sqrt{3}$ cm^2	2点
			計 9 点	
記述で答える問いについては、表現が異なっても 正解答と同意であればよい。			合計50点	